The Wild Grapes

Long, long ago there lived three daughters and their sick mother in a village, which was covered with heavy snow in winter.

The dying mother called her daughters at her bed and said,

"I'm seriously ill. I can't live so long. The last chance to survive is to eat a magical grape. One of you, bring it for me from the mountain."

"Mother, I'll get it for you." said the eldest daughter.

The mother taught them where they could find the grape tree.

"If you go near the mountain, you'll meet a snow lady. You must tell her the reason and listen to her. You must do as you are told. You must never disobey her."

"Ok, I promise." said she, and left her house in the snow.

When she came at the foot of the mountain, she met a snow lady and told her the whole story.

"Go, go, go!" said the lady.

The eldest daughter hurried toward the mountain in the snow.

"Back, back," said the lady when she went a few meters.

She stopped and returned to her hurriedly, thinking she must not disobey her.

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

At last she got angry and kept on going toward the mountain without listening to her. When she reached a crossroad, the lady appeared and gulped her in a moment.

The two daughters and their sick mother had been waiting for the eldest daughter to come home in vain.

"Mother, I'll get it for you." said the second daughter.

When she came at the foot of the mountain, she met a snow lady and told her the story again.

"Go, go, go!" said the lady.

The second daughter hurried toward the mountain in the snow.

"Back, back," said the lady when she went a few meters.

She stopped and returned to her hurriedly, thinking she must not disobey her.

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

At last she got angry and kept on going toward the mountain without listening to her. When she reached a crossroad, the lady appeared and gulped her in a moment.

The youngest daughter and her dying mother had been waiting for the two daughters to come home in vain.

"Mother, I'll get it for you." said the youngest daughter.

When she came at the foot of the mountain, she met a snow lady and told her the story again.

"Go, go, go!" said the monster.

The youngest daughter hurried toward the mountain in the snow.



"Back, back," said the monster when she went a few meters.

She stopped and returned to her hurriedly, thinking she must not disobey her.

"Go, go, go!" "Back, back, back!"

The youngest daughter went and returned again and again. She never disobeyed her.

"Go, go, go!" "G

"Come, come, come!" someone called her and she went toward the voice. She found a big grape tree full of fruits.

On getting a few fruits, she ran toward her house as fast as possible.

"Mother, I brought some grapes. Please eat them."

"My daughter, thank you very much for bringing me some grapes.

On eating a grape, the mother got well and recovered her illness.

The daughter and her mother lived a happy life. (2001.5.15)



山ぶどう

むかし、むかし、ある所に三人の娘と病気の母が住んでいました。そこは、冬になると大雪に覆われました。

今際(いまわ)の母は、娘を枕下に呼び寄せると言いました。

「病気がひどくて、もう長くはないでしょう。魔法のぶどうを食べればよくなるかもしれません。誰か、山からぶどうを取ってきておくれ。」

「おかあさん、私が行ってくるわ。」と長女が言いました。

母は、どこにそのぶどうの木があるか娘たちに教えました。

「山に近づくと、雪女が出てくるでしょう。理由(わけ)を話して、話をよく聞きなさい。言われた とおりにしなさい。決してさからってはいけません。」

「わかったわ。そうするわ。」と言うと、長女は雪の中、家を出かけました。 山のふもとに来ると、雪女が現われ、いきさつを話しました。

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」と雪女は言いました。 長女は急ぎ足で山に向かって行きました。すると、

「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」長女が少し行った所で、雪女が言いました。

長女は、逆らってはいけない、と思い、立ち止まり急いで戻ってきました。

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」「行きなさい。行きなさい。「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」「行きなさい。行きなさい。「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。」「戻りなさい。

長女は、とうとう腹を立て、言う事を聞かないで、山に向かい続けました。辻道までくると、雪女が現れ、あっという間に、飲みこんでしまいました。

二人の娘と病気の母は長女の帰りを待ちましたが、二度と戻ってきませんでした。

「お母さん、私が行ってくるわ。」と次女が言いました。

山のふもとに来ると、雪女が現われ、いきさつを話しました。

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」と雪女は言いました。

次女は急ぎ足で山に向かって行きました。すると、

「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」次女が少し歩いた所で、雪女が言いました。

次女は、逆らってはいけない、と思い、立ち止まり急いで戻ってきました。

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」

次女は、とうとう腹を立て、言う事を聞かないで、山に向かい続けました。辻道までくると、雪女が 現れ、あっという間に、飲みこんでしまいました。

三女と病気の母は二人の帰りを待ちましたが、二度と戻ってきませんでした。

「お母さん、私が行ってくるわ。」と三女が言いました。

山のふもとに来ると、雪女が現われ、いきさつを話しました。

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」と雪女は言いました。

三女は急ぎ足で山に向かって行きました。すると、

「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」三女が少し歩いた所で、雪女が言いました。

三女は、逆らってはいけない、と思い、立ち止まり急いで戻ってきました。



「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」 「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」 「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「戻りなさい。戻りなさい。戻りなさい。」 三女は、何度も何度も、行ったり来たりしました。決して逆らいませんでした。 「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」「行きなさい。行きなさい。行きな

さい。」

「行きなさい。行きなさい。行きなさい。」 三女は、森まで歩きつづけました。 「こっち。こっち。こっち。」三女は声のする方に行きました。 たわわにぶどうがなった大きな木がありました。 三女は、ぶどうの実を数粒とると、急いで家に戻りました。 「お母さん。ぶどうを取って来ました。食べて下さい」 「娘や。ありがとう。」 ぶどうを食べると、母は病気も治り、元気になりました。

娘と母は幸せに暮らしました。(2004.8.6)

